

練馬区教育委員会 御中

光が丘体育館における
SSC光が丘フットサル事業戦略プラン案

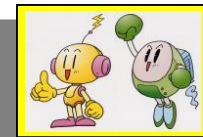
2008年5月18日改訂

2008年1月31日改訂

2007年8月25日



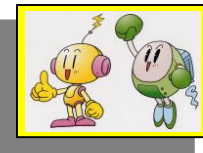
NPO法人SSC光が丘



プラン策定の背景と事業戦略の方向性

【プラン策定の背景】

- NPO法人SSC光が丘スタートにあたり平成15年3月ボアタルデ！フットサル(SSC桜台共催)にて300人近くの小学生～大人まで男女を集めてフットサル交流会を実施
- その後、添付別紙“多世代交流と一貫指導コース”のとおり、クラブライフを楽しむためのクラブづくり、そして「**自立と連帯**」をキーにひとづくり、まちづくりを目指して、フットサル・サッカーを軸にスポーツ普及と人材育成、交流(地域コミュニティ)の場を形成



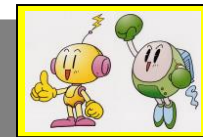
【事業戦略の方向性】

“一貫指導”



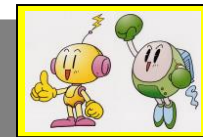
“多世代・多種目・多連携交流”

- 光が丘体育館をフットサルができるといった単なる施設(箱物)と捉えないこと
- 光が丘体育館を光が丘地区のスポーツ普及のシステム基盤(みんなの共通プラットフォーム)と捉えること
- その他の区立施設と都立施設そして学校施設とのネットワーク形成を図ること(光と緑と水=海浜・都市公園と芝生と夜間照明)
- 地域個人と地域団体(スポーツ・文化任意団体及び地域進出企業)の橋渡し・調整役を通じてスポーツ課題を解決すること



フットサル事業プラン案

- 事業の趣旨と狙い・・・年代・性別、目的・レベルなどを超えて、フットサルを楽しむとともに、地域交流・発展を図る。そのため、幼児・低学年代の基礎技術・体力づくり、女子フットサルの普及、パパ・ママ年代の生涯スポーツへの取り組みを支援することと、中学年代～青年における競技スポーツとして個人育成とチームで楽しむことを支援するを目指す。
- 事業の内容・・・定期活動(サークル・スクール)と非定期活動(教室・交流大会イベント)のコラボレーション活用



■ 活動プラン案・・・

【活動の内容】



①定期クリニック:対象:幼児・低学年(月2回、定員20名)

②定期サークル:対象:大学生～大人(月2～3回、定員30名)

③定期サークル:対象:小・中学生(週2回、定員20名)“3ON3スクール”

④定期スクール:対象:幼児(週2回、定員20名)“キッズフットサル・サッカースクール”

⑤定期スクール:対象:女性(週2回、定員30名)“アイドルが教えるレディースフットサルスクール”

⑥非定期教室 :対象:パパ(週1回*年4月、定員30名)“フリースタイルなフットサル”

⑦非定期教室 :対象:ママ(週2回*年2月、定員30名)“ママさんのシェイプアップ・フットサル”

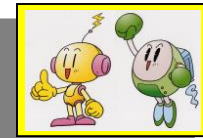
⑧非定期交流大会:対象:幼児～大人、年代別・男女混合・家族チーム

“SSC光が丘フットサルカップ”(年2回、定員40チーム)

“SSC光が丘フットサルリーグ”(前期・後期24回、定員10チーム)

“SSC光が丘ソサイチリーグ”(前期・後期12回、定員10チーム)

*アリーナ全面使用1コートにて室内7人制ミニサッカー



【活動の日程】

利用時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9～12時		⑦		⑦		①	⑧
午後① 13～15時							
午後② 15.5～17.5時		④ ③		④ ③			
午後③ 18～21時	⑤	⑥	⑧	⑤		②	

★フットサルフェスタ
 ①6/15(日)
 9:00～21:00
 ②3/21(土)
 9:00～21:00

※通常、半面もしくは1/4面使用。年間2～3回、土日全面使用。

事業戦略の方向性の展開案



- Step-by-StepでPDCAのサイクル展開を原則
 - ①光が丘体育館アリーナのフットサル利用施設管理運営(平成20年度)
⇒フットサル・スポーツのプレーイング・ルールの徹底と施設使用方法(ボール・ゴール・ネット装備・コート準備など)の徹底そして普及～育成～交流の場の創出のため、フットサル使用枠をSSC光が丘が全面活用する。
 - ②光が丘体育館遊休スペースでのクラブハウス管理運営(平成21年度)
⇒地下1階プール観覧席背後の壁面スペースにオープン・サロン(開かれた社交場)としてコミュニティスペースを確保してクラブ会員の更なる交流を図るため、SSC光が丘がボランティア・セルフサービス運営する。
 - ③光が丘体育館の施設管理運営(指定管理者制度)(平成22年度)
⇒光が丘体育館の有効活用のため、多様な利用・事業企画から予約・施設管理までの運営をSSC光が丘が一貫受託する。





- 多スペースのコラボ活用案
・・・プールと屋外芝生スペースの活用



①フットバレーボール～フットテニス

②ビーチフットサルから

ビーチボールバレー・ビーチバレーボールへ



③その他ニュースポーツ普及スペース

④多目的スペース(ダンス、野外音楽スタジオなど)

⑤屋外サロンとしてリラクゼーションスペース(高齢者向けなど)

